

L1S応用によるウェアラブルGPS機器の普及拡大に向けた、災害・危機管理通報サービスの実証

株式会社MASA

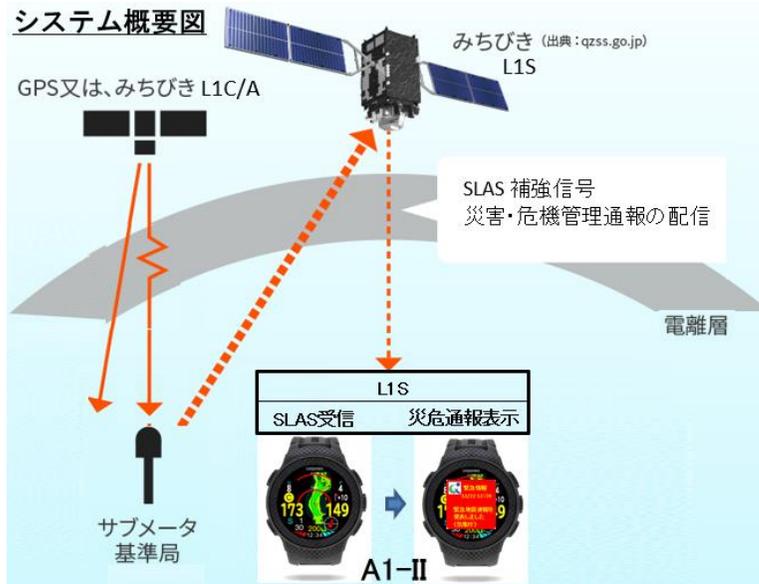
○GPSを利用したウェアラブル機器はその利用中に災害・危機に万一遭遇しても、いち早く情報を知る手段がなかった。みちびきL1S信号から配信される災害危機管理サービス情報(以下、災危通報と言う)を受信、報知できるようにし、その普及を目指す。

○すでにL1Sを採用している製品ゴルフウォッチ(A1-II)のファームウェア変更を行い、緊急度の高い災危通報(緊急地震速報、津波警報)を受信すると、アラーム音・警報画面を表示して報知されることを実証する。

○実証は飯能グリーンカントリークラブ2番ホールでゴルフプレイ中を想定して行った。L1S信号から配信されるSLAS、災危通報を受信し、通報を必要とするエリアを特定して災危通報が報知されることが確認できた。災危情報の得にくいアウトドア環境でも、ゴルフウォッチ(A1-II)により衛星から必要な情報をタイムリーに得られることが確認できた。

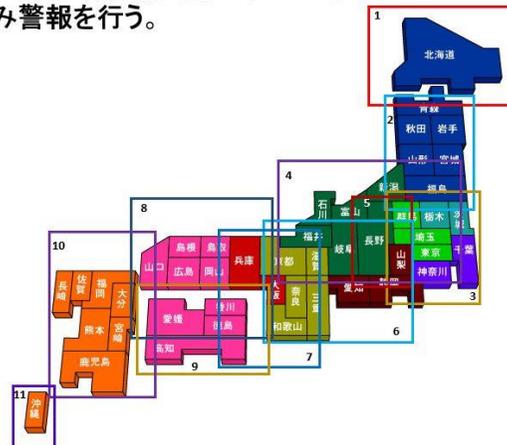
○ファームウェアのリリースは2021年3月末に行い、これにあわせて弊社webサイトへ情報掲載し、各メディアにプレスリリースを発行した。今後ゴルフ雑誌等に広告掲載していく。また、今後発売する製品にも本機能を搭載していく。

システム概要図



災危通報報知エリア図

みちびきからの災危通報報知は日本全国を対象に配信されるが、A1-IIでは災危通報内容から日本全国を11エリアに区分して、通報対象エリアに対してのみ警報を行う。



A1-IIの画面動作遷移(緊急地震速報)



ホール2でのプレイ中画面
(報知エリア外)

アラーム音と簡易警報画面表示
(報知エリア内)

詳細情報(対象地域表示)画面
(報知エリア内)